

結核に関するお知らせ

編集/発行 平成 25 年 9 月
兵庫県伊丹健康福祉事務所
(保健所) 健康管理課
〒664-0898 伊丹市千僧 1-51
TEL 072-785-2371
FAX 072-777-4091

平素より、感染症対策の推進につきまして、ご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。
毎年 9 月 24 日～30 日は『結核予防週間』です。この機会に「結核」について、再確認しましょう。



今も最大の感染症です！

日本では毎年 2 万人以上が新たに結核を発症し、結核罹患率は、先進諸国の中でもまだ高く依然「中まん延国」とされています。

平成 23 年、兵庫県では約 1,100 人が発症し、全国でワースト 8 位でした。



高齢者の結核は見過ごされやすい！

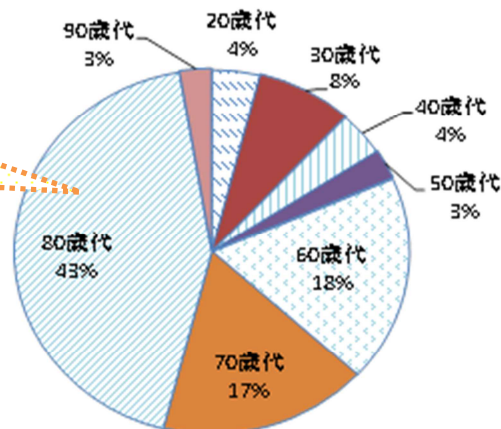
高齢者になるほど、呼吸器症状以外の症状で受診する率が上昇します。

特に、『食欲低下』や『なんとなく元気がない』は注意が必要です。

平成 24 年の結核患者は年齢別では、**80 歳代が最も多く (43%)、70 歳以上が全体の 6 割以上を占めています。**

※全国的にも高齢者の発生が増加しています。
(H23 年 70 歳以上 54%)

平成 24 年結核患者 (潜在性結核感染症を除く) 年齢別内訳 (伊丹保健所管内)



事例 1

81 歳男性 (老人保健施設入所中)
熱発があり抗生剤で一旦解熱。その後微熱が続き、抗生剤で経過をみていたが、39℃になり、総合病院に入院。胸部 X 線検査及び喀痰検査で肺結核と診断。

対策 1

原因不明の発熱も「結核」を疑う。
高齢者になるほど呼吸器症状による発見は減少し、胸部 X 線検査で結核を疑えない症例も多い。
受診時には併せて喀痰検査 (3 回連続) の実施をお願いする。
参考) 高齢者結核の臨床的検討: 結核、2010 (85)

事例 2

90 歳女性 (特別養護老人ホーム入所中)
37 度程度の微熱があり、クーリングや往診で経過をみていた。2 ヶ月程度経って、けいれんがみられたため救急搬送された。
入院時、けいれんは治まり、胸水が確認された。胸水の検査により「結核性胸膜炎」と診断された。

対策 2

なかなか治らない微熱の場合、「結核」も疑い、早期に呼吸器内科受診を！



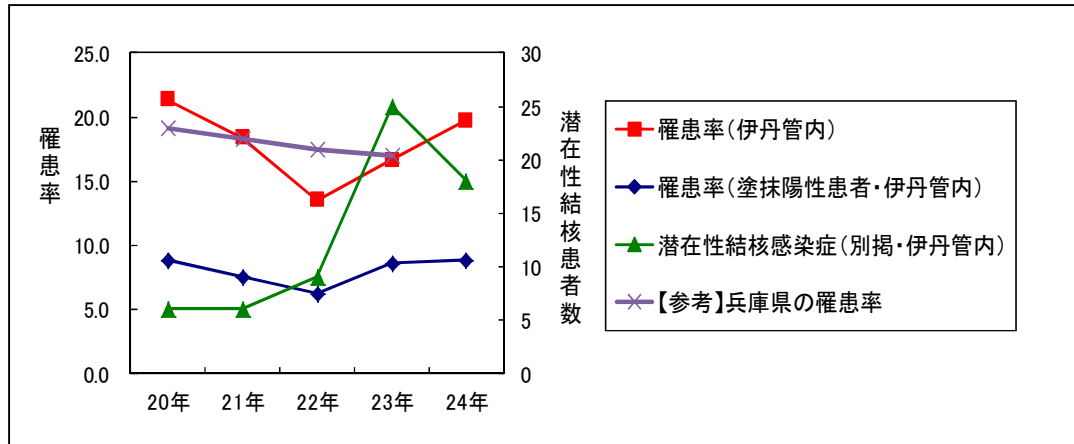
近年、罹患率が上昇傾向にあります！

平成 24 年の罹患率*は 19.7（平成 23 年 16.6）です。

そのうち感染性の高い喀痰塗抹陽性患者の罹患率は、8.8 であり、平成 22 年以降上昇しています。

※人口 10 万対、潜在性結核感染症を除く

罹患率および潜在性結核感染症患者数の推移（伊丹保健所管内）



結核予防のために平時からできること

- ★入所及び通所開始時に、結核の発症はないこと確認しましょう
- ★年に一度、胸部 X 線検査を行うなど利用者の健康状態に注意しましょう
(感染症法 53 条の 2 で、社会福祉施設の管理者は、入所者に定期結核健診を受けさせるよう定められています。それ以外の施設においても定期的に健診を受けさせましょう)
- ★日頃から利用者の体調の変化に留意し、せき・たん・微熱・食欲低下・なんとなく元気がない場合は早めに受診しましょう
- ★職員が結核について正しい知識を持ち、入所および通所者の健康管理や感染予防策がとれるよう定期的に研修を受けましょう
- ★職員が結核を発症した場合、周りに与える影響が大きいため、定期的な健診を受け、また有症状時は早めに受診し、健康管理に努めましょう



結核が疑われたら、適切な感染対策（飛沫・空気感染予防策）を！

結核が疑われた場合、検査結果が出るまでは、下記のような対応をお願いします。

- ★結核疑いの利用者は可能なかぎり個室対応しましょう
(結核と判明した場合、使用後は十分に換気しましょう。)
- ★結核疑いの利用者はサージカルマスクを、職員や家族は N95 マスクをつけましょう
- ★通所サービスの場合は、サービス利用を控えるよう本人や家族と相談をしましょう
(自宅では、できれば個室で過ごしてもらうよう助言)